

# 日本語学習支援ネットワーク会議 10 in MORIOKA

## —新たな日本語学習支援へ—

外国出身者が生活するために必要な日本語学習支援活動が東北各地で展開されています。今回、6回目を迎えた「日本語学習支援ネットワーク会議」では、定住外国人をめぐる新しい動きについて（教材紹介、行政からの情報）紹介し、これからの新たな日本語学習支援について、考えていきます。

**日時** 2010年11月20日（土）10:00～16:30

**場所** 岩手大学学生センターA棟

**参加無料**

**10:05～12:00 日本語教材使い方ワークショップ 場所：G2大**

『にほんごこれだけ!1』（ココ出版）を使いこなそう！

「ゼロ初級の外国人参加者が、おしゃべりを楽しみながら、活動に組み込まれた“隠れ文法”により、自然に文型を習得する」というコンセプトで作成された日本語教材の著者が、その使い方について楽しく実践的に説明するワークショップです。

国立国語研究所 森 篤嗣氏  
広島市立大学 岩田 一成氏

**13:00～13:50 基調報告 場所：G2大**

「文化庁『生活者としての外国人』のための日本語教育事業」と

外国人散在地域の日本語学習支援

文化庁によって現在展開されている「生活者としての外国人」のための日本語教育事業の最新情報について文化庁国語課の担当者から紹介していただき、散在地域と事業のつながりについて考えます。

文化庁国語課 仙田 武司氏

**14:10～16:00 ラウンドテーブル 場所：G21・G22**

「にほんごこれから！」—語ろう、見つけよう、地域の日本語学習支援の未来—

成人の支援、子どもの支援に分かれて、参加者同士の活動の情報交換を交えながら、今後の活動の方向性、協力体制について話し合います。

進行：【子ども支援のテーブル】 田所 希衣子氏（外国人の子ども・サポートの会）  
【大人支援のテーブル】 内海 由美子氏（山形大学）

**16:15～16:30 全体会（総括） 場所：G2大**

ラウンドテーブルからの報告とまとめ

主催：岩手大学国際交流センター・（財）岩手県国際交流協会  
後援：いわて多文化子どもの学習支援連絡協議会

【会場へのアクセス】 <http://www.iwate-u.ac.jp/campusannai/morioka.shtml>

バス案内(盛岡駅前から)

11 番乗り場 岩手大学前下車 (岩手大学を通らないバスもありますのでご注意ください)

所用時間:約 15 分(運賃:210 円)

【参加申し込み】

申込書に必要事項を記入し、下記あてに FAX またはメールにてお申し込みください。  
当日会場での受け付けも可能ですが、資料等の準備の都合上、できるだけ事前にお申し込みください。  
(申し込み締め切り:11月15日(月))

問合せ・申し込み先:

松岡 洋子 (岩手大学国際交流センター)

FAX: 019-621-6867

e-mail: yokomat@iwate-u.ac.jp

日本語学習支援ネットワーク会議 10 in MORIOKA

参加申込書

★参加ご希望のプログラムに印をつけてください。分科会は第1希望に1、第2希望に2と( )にお書きください。

- 午前 教材ワークショップ
- 午後前半 基調報告
- 午後後半 ラウンドテーブル  
ご希望のテーマをお選びください。  
子どもの支援 ( )  
大人の支援 ( )

お名前(ふりがな) \_\_\_\_\_

電話番号(日中の連絡先) \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_

ご所属 \_\_\_\_\_

★期待すること、ご意見などございましたら、お書きください。

(ここでお寄せいただいた個人情報はこのシンポジウムに関する連絡等以外では使用しないことをお約束いたします)